様式４－１

臨床研修協力施設概況表－１－

医療機関用

記入日：西暦２０２３　年　４月１９日

病院施設番号 既に番号を取得している施設については病院施設番号を記入してください。	036061	臨床研修病院群の名称 臨床研修病院群を構成する場合に記入してください。 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 紀南病院臨床研修プログラム群 番号 030591402

作成責任者の氏名及び連絡先 本調査表の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　ムラタ　シュウイチ 氏名（姓）　村　田 （名）　修　一	所属　（内線　21　） 事務　（直通電話（0739）55　―　2065） 役職 事務次長 e-mail：kokohosusamibyouin@coral.cypress.ne.jp （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）	

１．臨床研修協力施設の名称	ﾌﾘｶﾞﾅ　コクホスサミビョウイン 国保すさみ病院
２．臨床研修協力施設の所在地	〒 6 4 9 ― 2 6 2 1　（　和歌山　都・道・府・(県) 西牟婁郡すさみ町周参見 2380 番地 電話：(0739) 55 ― 2065　ＦＡＸ：(0739) 55 ― 2225
３．臨床研修協力施設の開設者の氏名（法人の名称）	ﾌﾘｶﾞﾅ　スサミチョウチョウ　イワタ　ツトム すさみ町長　岩田　勉
４．臨床研修協力施設の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒 6 4 9 ― 2 6 2 1　（　和歌山　都・道・府・(県) 西牟婁郡すさみ町周参見 4089 番地 電話：(0739) 55 ― 2065　ＦＡＸ：(0739) 55 ― 2225

５．臨床研修協力施設の管理者の氏名及び役職名	ﾌﾘｶﾞﾅ　タカガキ　ユウサク 姓　高垣	名　有作	役職名：病院長
６．研修実施責任者の氏名及び役職名	ﾌﾘｶﾞﾅ　タカガキ　ユウサク 姓　高垣	名　有作	役職名：病院長
７．施設のホームページアドレス	http://www.cypress.ne.jp/susamihp/		

	※	
８．診療科名 当該病院の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに○をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。		標ぼう診療科（番号に○をつけてください。） (1.)内科　2.呼吸器内科　3.循環器内科　4.消化器内科（胃腸内科）　5.腎臓内科　6.脳神経内科　7.糖尿病内科（代謝内科）　8.血液内科　9.皮膚科　10.アレルギー科　11.リウマチ科　12.感染症内科　13.小児科　14.精神科　15.心療内科　(16.)外科　17.呼吸器外科　18.心臓血管外科　19.乳腺外科　20.気管食道外科　21.消化器外科（胃腸外科）　22.泌尿器科　23.肛門外科　24.脳神経外科　25.整形外科　26.形成外科　27.美容外科　28.眼科　29.耳鼻いんこう科　30.小児外科　31.産婦人科　32.産科　33.婦人科　(34.)リハビリテーション科　35.放射線科　36.麻酔科　37.病理診断科　38.臨床検査科　39.救急科　99.その他（次に記入してください。）

991	科	992	科
993	科	994	科
995	科	996	科
997	科	998	科

臨床研修協力施設概況表－２－

病院施設番号：　036061　　臨床研修協力施設の名称：　国保すさみ病院

９．救急医療の提供の実績	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2020 年　2 月　4 日、告示番号：第　159　号
	医療計画上の位置付け		番号に○をつけてください。 １．初期救急医療機関 (2.) 第二次救急医療機関 ３．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		(1.) 有　(22.83) m²　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：　620 件（うち診療時間外：　543 件） １日平均件数：　1.7 件（うち診療時間外：　1.5 件） 救急車取扱件数：　159 件（うち診療時間外：　82 件）
	診療時間外の勤務体制		医師：　1　名、看護師及び准看護師：　1　名
	指導を行う者の氏名等		＊　臨床研修病院指定申請書の別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（(1.) 有　０．無）　外科系（(1.) 有　０．無）、 小児科（１．有　(0.) 無） その他（　）
10. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）			1.一般：48 床、2.精神：＿＿床、3.感染症：＿＿床 4.結核：＿＿床、5.療養：24 床（療養病床は現在休床中）
11. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数			＊　別紙１に記入
12. 病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入)			1.一般：22.6 日、2.精神：＿.＿日、3.感染症：＿.＿日、 4.結核：＿.＿日、5.療養：＿.＿日
13. 前年度の分娩件数 （産婦人科の研修がある場合のみ）			正常分娩件数：　0 件、異常分娩件数：　0 件
14. 臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （臨床病理検討会を実施している場合のみ）	開催回数		前年度実績：　0　回、今年度見込：　0 回
	指導を行う病理医の氏名等		＊　臨床研修病院指定申請書の別紙４に記入
	剖検数		前年度実績：　件、今年度見込：　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室： １．有 ０．無　（　）大学、（　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
15. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無	研修医の宿舎		(1.) 有（単身用：　戸、世帯用：　2 戸） ０．無（住宅手当：　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		１．有（　室）　(0.) 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
16. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況	図書室の広さ		（　）m²
	医学図書数		国内図書：　40 冊、国外図書：　冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　2 種類、国外雑誌：　1 種類
	図書室の利用可能時間		：　～　：　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（１．有　(0.) 無）、 教育用コンテンツ（１．有　(0.) 無）、 その他（　） 利用可能時間（　：　～　：　）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（１．有　(0.) 無）、 その他（　）
17. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （精神科の研修を行う施設については記入してください。）			精神保健福祉士：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 作業療法士：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 臨床心理技術者：　名（常勤：　名、非常勤：　名） その他の精神科技術職員： ＿＿名（常勤：＿＿名、非常勤：＿＿名）

臨床研修協力施設概況表－３－

＊ここからは研修プログラムごとに記入してください。

病院施設番号：　036061　　臨床研修協力施設の名称：　国保すさみ病院

		※	
18. 研修プログラムの名称 プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：紀南病院臨床研修プログラム プログラム番号：030591402
19. 研修医の指導を行う者の氏名等 臨床研修協力施設に所属する研修医の指導を行う者の氏名等は、基幹型臨床研修病院の申請書の別紙４に記入してください。			＊　臨床研修病院指定申請書の別紙４に記入
20. インターネットを用いた評価システム			(1.) 有（ (・)EPOC　・その他（　　）　）　0．無
21. 研修医の処遇	処遇の適用		(1.) 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ２．施設独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		(1.) 常勤　２．非常勤
	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　0　円） 賞与／年（　円） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　0　円） 賞与／年（　円） 時間外手当：　１．有 (0.) 無 休日手当　：　１．有 (0.) 無
	勤務時間		基本的な勤務時間（　8：30　～17：15　）24 時間表記 休憩時間（12：00　～13：00） 時間外勤務の有無：１．有 (0.) 無
	休暇		有給休暇（１年次：　10 日、２年次：　11 日） 夏季休暇 ((1.) 有　０．無） 年末年始 ((1) 有　０．無） その他休暇（具体的に：慶弔休暇　）
	当直		回数（約　4 回／月）
	研修医の宿舎（再掲）		(1.) 有（単身用：　戸、世帯用：　2　戸） ０．無（住宅手当：　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室（再掲）		１．有（　室）　(0) 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険		公的医療保険（全国健康保険協会　） 公的年金保険（厚生年金　） 労働者災害補償保険法の適用 ((1.) 有　０．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有 (0.) 無） 雇用保険 ((1.) 有　０．無）
	健康管理		健康診断（年　1　回） その他（具体的に：　）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入 ((1.) する　０．しない） 個人加入（１．強制 (0.) 任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：(1.) 可　０．否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：１．有 (0.) 無
	院内保育所		院内保育所の有無　（１．有　(0) 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　時　分 ～　時　分） 病児保育　（１．有 (0) 無） 夜間保育　（１．有 (0.) 無） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（１．可　０．不可）
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．有 (0) 無） その他の補助（具体的に：　）

※欄は、記入しないこと。

臨床研修協力施設概況表－４－

＊研修プログラムごとに記入してください。

病院施設番号：　036061　　臨床研修協力施設の名称：　国保すさみ病院

		※	
21. 研修医の処遇（続き）	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所　（1．有　0．無） 授乳スペース　（1．有　0．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		（　　）
	研修医のライフイベントの相談窓口		1　有　　0．無 窓口の名称がある場合記入（　　） 窓口の専任担当　1．有（　　名）　0　無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入（　　） 窓口の専任担当　1．有（　　名）　0．無

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

１　特に定めのあるもののほか、原則として、申請日の属する年度（以下「申請年度」という。）の４月１日現在で作成すること。

２　初めて概況表を提出する施設の場合は、記入が必要なすべての項目について記入してください。

３　既に病院施設番号を取得している施設については病院施設番号を記入し、前回提出した申請書の内容と異なる項目について記入してください。

４　（医療機関のみ）と記載されている項目は、当該施設が医療機関である場合にのみ記入してください。

５　（１．有　０．無）のように選択形式の項目は、いずれかに〇をつけてください。

６　※欄は、記入しないこと。

７　臨床研修協力施設の種類に応じて、「１.医療機関　　２.その他の機関」の番号に〇をつけること。

８　「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。また、「所属」欄には、作成責任者の所属施設名を記入すること。

９　「診療科名」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設の医療法上の標ぼう診療科について該当する番号すべてに〇をつけ、該当する診療科がない場合は「99.その他」欄に記入すること。

10　「救急医療の提供の実績」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、救急医療を提供している場合に記入するものであること。

（１）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和３９年厚生省令第１８６号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日及び告示番号を記入するものであること。

（２）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に〇をつけるものであること。

（３）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「１．有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「０．無」に〇をつけること。

（４）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「１日平均件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（３６５又は３６６）で除した数、また、「救急車取扱件数」は申請年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（５）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（６）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙４に記入すること。

（７）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

11　「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合であって、許可病床を有している場合に、当該施設の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

12　「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に、当該施設で行う研修分野に係る診療科について記入することで差し支えないこと。

13　「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合に記入するものであって、次に掲げる算出式により算出した、申請年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、申請年度の前年度の毎日午後１２時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※　算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{\text{1／2（新入院患者数＋退院患者数）}} \quad = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

14　「前年度の分娩件数」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、産婦人科の研修を行う場合に、申請年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

15　「臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関であって、臨床病理検討会を開催している場合に記入するものであること。

（１）「開催回数」欄は、申請年度の前年度の開催回数及び申請年度の開催見込数を記入すること。

（２）「剖検数」欄は、申請年度の前年度の剖検件数及び申請年度の剖検見込数を記入すること。

（３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に〇をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に〇をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（　　）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（　　）病院」に当該病院名を記入すること。

16　「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。

（１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該施設の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に〇をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に〇をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。

（２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に〇をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に〇をつけること。

17　「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄は、臨床研修協力施設が医療機関である場合には必ず記入すること。

（１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に〇をつけ、利用できない場合には「０．無」に〇をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

（２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に〇をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

18　「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該施設が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

19　「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

20　「研修医の指導を行う者の氏名等」欄については、研修医の指導を行う者について臨床研修病院指定申請書の別紙４に記入すること。

21　「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに〇をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。

22　「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に〇をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、施設独自の処遇とする場合には、２に〇をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に〇をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に〇をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに〇をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（　　）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（　　）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに〇をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに〇をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに〇をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに〇をつけること。

(10)「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に〇をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に〇をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に〇をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に〇をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に〇をし、預けることができない場合は「０．不可」に〇をすること。

(11)「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に〇をし、ない場合は「０．無」に〇をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

(12)「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に〇をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に〇をすること。

(13)「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（10）～（12）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。

(14)「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に〇をし、ない場合は「０．無」に〇をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に〇をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に〇をすること。

(15)「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に〇をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に〇をすること。